



令和元年 7月 1日

平成 30 年 7 月豪雨災害から 1 年を迎えるにあたり  
豪雨災害調査団 公開最終報告会を開催します

広島大学は、「平成 30 年 7 月豪雨災害」発災直後の、平成 30 年 7 月 11 日に、広島大学長を団長とした「広島大学平成 30 年 7 月豪雨災害調査団」を設置し、活動を行なってきました。

7 月 6 日に豪雨災害から 1 年を迎えるにあたり、豪雨災害調査団のこれまでの活動を総括するため、最終報告会を下記のとおり開催いたします。

豪雨災害調査団では、学内の防災研究分野の専門家の力を集結して、土石流・斜面災害、水文気象・洪水・氾濫、生活インフラ被害、公衆衛生・災害医療などについて専門的見地から調査に取り組んでいます。

## 記

日時：令和元年 7 月 5 日（金）13：30～15：00

場所：広島大学 東千田キャンパス 未来創生センターM202 講義室  
（〒730-0053 広島市中区東千田町一丁目 1 番 89 号）

## 出席者：

藤原章正（国際協力研究科教授／副団長、生活インフラ被害班長）  
土田 孝（防災・減災研究センター長／土石流・斜面災害班長）  
海堀正博（総合科学研究科教授／土石流・斜面災害班）  
河原能久（工学研究科教授／水文気象・洪水・氾濫班長）  
大毛宏喜（病院副院長／公衆衛生・医療班長）

## 内容：

豪雨災害調査団 1 年の活動まとめ  
調査研究報告（各班）  
質疑応答

## 【お問い合わせ先】

社会産学連携室  
社会産学連携グループ 三戸  
TEL:082-424-5871

発信枚数：A4版 4枚（本票含む）

【FAX返信用紙】

FAX：082-424-6040

広島大学財務・総務室広報部広報グループ 行

平成30年7月豪雨災害から1年を迎えるにあたり  
豪雨災害調査団 公開最終報告会を開催します

記

日時：令和元年7月5日（金）13：30～15：00

場所：広島大学 東千田キャンパス 未来創生センターM202 講義室  
（〒730-0053 広島市中区東千田町一丁目1番89号）

ご出席

ご欠席

貴社名 \_\_\_\_\_

部署名 \_\_\_\_\_

ご芳名 \_\_\_\_\_（計 名）

電話番号 \_\_\_\_\_

誠に恐れ入りますが、上記にご記入頂き、7月4日（木）12時までにご連絡ください。





1

30 7

3

30 7

7 10

2018 7

30 7

上

1

30 7

上

2

2018 7

(1999 6.29

2014 8.20

)

30 7

30 7

Geo-Disasters in Hiroshima Prefecture Caused by the West Japan Torrential Rainfall in July 2018

Ryota Hashimoto, Takashi Tsuchida\*, Takeo Moriwaki, Seiji Kano

30 7

30 7

X MP

30 7

30 7

---

30 7

SNS

---